記入例（一般会員）

- 一般会員として参加を希望される場合には、項目１から４について、記載例を参考に、具体的にどのような活動が可能か記載してください。
- いただいた資料をもとに事務局でスクリーニングを行い、最終的には幹事会の議決により入会可否を決定します。

【項目１，２記載例】

項目	詳細
１．規約第２条に掲げる目的に合致するサービス・ソリューション案（概要）	**※以下の項目分けはあくまで例ですが、記入する際の参考としてください。** **〇サービス・ソリューションの背景** 高齢者のフレイル対策として、健康維持・増進のために生活習慣を改善する行動変容を維持していくことが重要である。 一方、当社の調査では、生活習慣の改善を希望するものの、活動を継続できないと回答した高齢者が●%存在し、継続サポートのニーズは高いと考えている。 **〇取組内容** **タイトル：複数の健康づくりアプリを統合的に提供する生活習慣改善サポートアプリの開発・提供** 個人が利用している複数の健康づくりアプリを仮想的に統合し、食事、運動、睡眠等に係る複数の健康目標を意識することなくシームレスに利用可能にする。さらにそこから発生する多様なデータを個人に帰属する形で一元的に収集し、本人の意思に基づいて利活用ができるアプリの開発・提供を行う。 具体的には、①各種アプリとの連係、②目標設定、③セルフモニタリング、④フィードバック、⑤コミュニティ参加、⑥リマインダー（動機付け）、⑦インセンティブ＆ゲーミフィケーションなどの機能を提供する。 （主な機能） ① 各種アプリとの連係：スマートウォッチなどのウェアラブルデバイスや、各社の健康アプリなどと同期してサービスの連続性を保ちつつ、データを一元的に収集・管理できる。 ② 目標設定：生活習慣改善のゴールを設定でき、進捗管理機能により、ユーザーに対して、通知やリマインダーが提供される。 ・・・・ ⑦ インセンティブ＆ゲーミフィケーション：マイルストーン達成や継続的な利用に対する金銭的インセンティブなども含めゲームのような要素を用いて、行動変容プロセスをより楽しいものにする。

	〇サービス・ソリューションの実装による想定効果 本アプリケーションの利用を通じて、個人の健康目標に合わせた複数のアプリの統合と、個人に帰属する各種データの一元管理を行うことで、自身が改善したい健康目標を楽しく継続しながら達成できることを目指す。 当社が目標とするのは、個々人の状況や状態に応じたサービスの提供であり、コンソーシアムで実装される多様なアプリとの連係を実現することで、利用者自身のための真のパーソナライズ化を実現する。 **〇取組の新規性・革新性** 各種アプリケーションをシームレスに連動させ、利用者となる高齢者の各種データを一元管理し、当社の機能に連動させることで、各種利用アプリの違いを意識することなく複数のサービスを統合的に利用できる。 また、エビデンスに基づく高齢者との対話機能、リコメンド並びに多様なアプリの最適なタイミングでの実行は、AI 技術（機械学習）にて実現する。
２．１のサービス・ソリューション案に関するコンソーシアムにおける活動イメージ（推進体制・事業計画等）	**〇プロジェクトの実施体制・役割分担** プロジェクト管理体制：当社を中心に以下のような体制・役割分担を想定。 ① 設計・開発体制：フロントエンド、バックエンド、アプリケーション開発体制（iOS、Android の開発体制を敷く）については、当社を中心として、一部外部委託（AAA 社） ② サポート・運用体制：システム運用に関しては、当社で実施。ユーザー向けのヘルプデスク等のカスタマー・サポート体制については、委託予定（委託先は未定） ③ 実証フィールド（自治体または事業者等）及び実証参加者：未定 ④ 研究機関（実証デザイン・分析に関わる研究者等）：未定 **〇開発に必要な財源・資源** プロジェクトを開始するために必要な初期資金の準備と開発から実装・運営までの主たる要員の準備は自社で可能。 自社予算で開発する予定だが、複数年にわたる開発と実証が続くため、各種補助金を獲得したい。 **〇実現までのロードマップ** 【1 年目】 アプリ及び API の試作開発、実証参加アプリの募集、研究機関及び自治体との実証体制の構築（指標：1 次開発完了、連携体制構築） 【2-3 年目】 参加者の継続募集（〇〇人/年間想定）、ユーザー支援体制の構築（自治体、医療機関、介護事業者）、試作ア

	プによるフィールド実証着手、継続的な利用者アンケートやヒアリング等の調査、アプリ及び API 機能の追加・継続改善（指標：2 次開発完了、実証参加者△△人） 【4-5 年目】 サービスの継続改善、一部のオプション機能（追加プログラム、健康相談、コミュニティの SNS 機能等）に関する有償化検討（指標：開発最終化、有償化検討） 【6 年目以降】 一部サービスの有償化、機能の追加と改善、事業スケール対応等（指標：事業スケール（年商：△△億円）） **〇事業実現により達成される事項** 本事業を人口〇万人の基礎自治体が導入した場合の効果を以下のように試算する。 【健康アウトカム】 ・保健指導滞留者の改善（改善率〇%） ・生活習慣改善に伴う健康寿命の延伸（〇歳） ・介護認定率の抑制に伴う公費負担削減（〇〇年度〇〇千万円） **〇コンソーシアムとして活動したい理由、コンソーシアムに求めるもの** 今回想定しているサービスは、健康づくりアプリの利用継続をサポートするものであり、本コンソーシアムの活動との親和性が非常に高いと考えている。 本サービスを開発するにあたっては、サービスを利用する高齢者のニーズ分析が必要であり、コンソーシアムの分科会活動等を通じて、利用者である高齢者や取り巻く関係者（親族、自治体、医療関係者、介護事業者等）へのアンケート調査やヒアリング等を行いたい。 また、アプリケーションを提供するコンソーシアム会員と共に本サービスの UI/UX 設計を協働で実施させていただくことで、各社アプリとの利用面での一貫性が高いサービスを実現したいと考える。 **〇これまでの実績** **※あいちデジタルヘルスコンソーシアムの目的や活動内容に合致するこれまでのサービスや活動内容の実績を記載。**

【項目３，４記載例】

３．規約第３条に掲げる活動に必要なリソース（実証フィールド、知見、資金、人材、データ、インフラ等）	**〇提供可能なリソースの概要** ①自社の介護施設の活用 当社では、愛知県内に計●の介護施設を有しており、コンソーシアム会員が実証フィールドとして介護施設の活用を希望する場合に協力可能。 また、コンソーシアム会員が高齢者への理解度を向上させるために、介護施設の視察や職員等へのヒアリングを希望する場合にも協力したい。 ②高齢者に関するノウハウの提供 当社では介護施設のほか、高齢者に関するサービスを自社開発しており、高齢者へのサービス提供ノウハウを有している。 特に、高齢者にデジタル技術を活用してもらうには多くの苦労が伴うが、当社ではデジタルを活用したサービスを約●人の高齢者に提供した実績とノウハウを保有しており、本コンソーシアムにてデジタルを活用した新たなサービスやソリューションを創出する際には、我々が持つ高齢者のデジタル活用に関するノウハウや、ヒアリング結果等を提供したいと考えている。 ③ユーザー網の活用 当社では前述のとおり、高齢者へのサービス網を有しており、コンソーシアム活動に必要な場合には、当社のユーザー網を活用することも可能 ④イベントでの連携 当社では、高齢者に関するサービス開発を目的としたスタートアップ向けのイベントを開催しており、こうしたイベント開催のノウハウ提供や、当社イベントとコンソーシアム活動との融合も可能。 **〇リソース提供により想定される効果** ①について、実証フィールドやヒアリング先として当社の介護施設を活用することにより、ユーザーのニーズを捉えた製品開発が可能になると思慮。当社では、これまでも実証フィールドやヒアリング先として施設の活用に協力してきた実績があり、職員や高齢者の方からの協力も得られやすい。 ②について、前述のとおり約●人の高齢者に対し、サービスを提供しており、▲%の高齢者から評価されている。こうした実績は、当社の高齢者本人や、取り巻く環境、制度等の総合的な知識・ノウハウによるものだと自負しており、コンソーシアムのサービス・ソリューション開発にも大きな効果があると考えている。 ③について、当社では約●人のアクティブユーザーと、約●人の DM 網を抱えており、こうしたユーザー網の活用は、新サービス販売時の販路拡大に資するものだと考えている。

	④について、当社ではスタートアップ等に対して高齢者向けのサービス開発に関するビジネスコンテストを開催しており、自社から賞金も出している。コンソーシアム会員にもイベントに参加してもらうことで、資金調達の機会を提供できると考えている。
４．３のリソースに関するコンソーシアムにおける活動イメージ（他の会員との連携体制等）	**※以下の項目分けはあくまで例ですが、記入する際の参考としてください。** **〇コンソーシアム活動との連携方法** 上述したリソースをコンソーシアムに提供するため、当社●●課▲名が各種コンソーシアム活動に主体的に参加する。 当面、以下のような活動を実施したい。 ・　コンソーシアム会員向けの当社介護施設の視察やヒアリング ・　介護施設を実証フィールドとする分科会への参加 ・　当社が持つ高齢者アンケートなどのデータ提供 **〇コンソーシアムとして活動したい理由、コンソーシアムに求めるもの** 当社のミッションとして、高齢者の well-being の実現を掲げており、本コンソーシアムの目的と合致している。このミッションは当社だけでは実現できるものではないと感じており、本コンソーシアムと共に取組を進めることで、実現に近づけると考えている。 このような理由から当社は本コンソーシアムへの参画を希望しており、コンソーシアムに対しては、企業や自治体、研究機関等が一体となる場づくりに期待している。 **〇コンソーシアムへの提供価値** 前述のとおり、自社施設の活用や、高齢者へのサービス提供を通じたノウハウ、ユーザー網の活用など本コンソーシアムの活動全体に良い影響を与えられると考えている。 **〇これまでの実績** **※あいちデジタルヘルスコンソーシアムの目的や活動内容に合致するこれまでのサービスや活動内容の実績を記載。**